



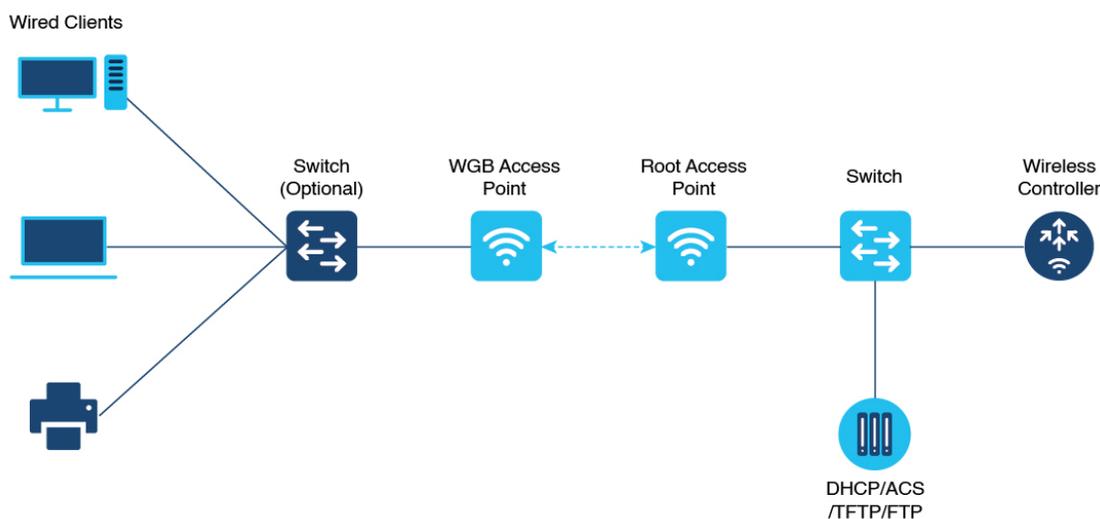
ワークグループブリッジ

- [Cisco ワークグループブリッジ \(1 ページ\)](#)
- [WLAN でのワークグループブリッジの設定 \(4 ページ\)](#)
- [ワークグループブリッジのステータスの確認 \(4 ページ\)](#)

Cisco ワークグループブリッジ

アクセスポイント (AP) モードのワークグループブリッジ (WGB) は、イーサネットポートで WGB AP に接続される有線クライアントへのワイヤレス接続を提供します。WGB はイーサネットインターフェイス上の有線クライアントの MAC アドレスを学習し、Internet Access Point Protocol (IAPP) メッセージングを使用してインフラストラクチャ AP 経由で WLC に報告することで、1 つのワイヤレスセグメントを介して有線ネットワークに接続します。WGB はルート AP への単一のワイヤレス接続を確立し、ルート AP は WGB をワイヤレスクライアントとして扱います。

図 1: WGB の例



組み込みワイヤレスコントローラの WGB でサポートされるモードは次のとおりです。

- Flex モード：中央認証とローカルスイッチング。



(注) 中央認証は Wave 1 および Wave 2 AP でサポートされていますが、ローカルスイッチングは Wave 2 AP でのみサポートされています。

次の機能は WGB での使用をサポートされています。

表 1: WGB 機能マトリックス

機能	Cisco Wave 1 AP	Cisco Wave 2
802.11r	サポート対象	サポート対象
QOS	サポート対象	サポート対象
UWGB モード	サポートあり	Wave 2 AP ではサポート対象
IGMP スヌーピングまたはマルチキャスト	サポート対象	サポート対象
802.11W	サポート対象	サポート対象
PI サポート (SNMP なし)	サポート対象	サポート対象外
IPv6	サポート対象	サポート対象
VLAN	サポート対象	サポート対象
802.11i (WPAv2)	サポート対象	サポート対象
ブロードキャストのタグ付け/複製	サポート対象	サポート対象
ユニファイド VLAN クライアント	暗黙的にサポート (CLI は不要)	サポートあり
WGB クライアント	サポート対象	サポート対象
802.1x : PEAP、EAP-FAST、EAP-TLS	サポート対象	サポート対象
NTP	サポート対象	サポート対象
すべての LAN ポートで有線クライアントをサポート	Wired-0 および Wired-1 インターフェイスでサポート	すべての Wired-0、1 および LAN ポート 1、2、3 でサポート

表 2: サポートされるアクセスポイントと要件

アクセスポイント	要件
Cisco Aironet 2700、3700、1572 シリーズ	自律イメージが必要
Cisco Aironet 1800、2800、3800、4800、1562、および Cisco Catalyst 9105、9115、9120、IW6300、ESW6300 シリーズ	Cisco AireOS 8.8 リリース以降の CAPWAP イメージ

表 3: AP での WGB サポート

WGB の WLAN サポート	Cisco Wave 1 AP	Cisco Wave 2 AP
[Central Authentication]	サポート対象	サポート対象
ローカル スイッチング	未サポート	サポート対象

- MAC フィルタリングは、有線クライアントではサポートされていません。
- アイドルタイムアウトは、WGB と有線のどちらのクライアントでもサポートされません。
- セッションタイムアウトは、有線クライアントには適用されません。
- Web 認証はサポートされていません。
- WGB は最大 20 のクライアントのみをサポートします。
- 証明書のチェーンを使用する場合は、すべての CA 証明書をファイルにコピーし、WGB のトラストポイントにインストールします。そうしないと、サーバー証明書の検証が失敗する可能性があります。
- WGB に接続している有線クライアントは、セキュリティについて認証されません。代わりに WGB が、アソシエートしているアクセスポイントに対して認証されます。そのため、WGB の有線側を物理的に保護することをお勧めします。
- WGB に接続された有線クライアントは、WGB の QoS および AAA オーバーライド属性を継承します。
- WGB がルート AP と通信できるようにするには、WLAN を作成し、[Advanced] 設定で Aironet IE が有効になっていることを確認します。

WLAN でのワークグループブリッジの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	wlan profile-name 例： Device(config)# wlan wlan-profile	WLAN コンフィギュレーション サブモードを開始します。wlan-profile は設定されている WLAN のプロファイル名です。
ステップ 3	ccx aironet-iesupport 例： Device(config-wlan)# ccx aironet-iesupport	この WLAN の Aironet IE のサポートをイネーブルにします。
ステップ 4	no shutdown 例： Device(config-wireless-policy)# no shutdown	WLAN を再起動します。

ワークグループブリッジのステータスの確認

- WGB の数を表示するには、次のコマンドを使用します。

show wireless wgb summary

次に、出力例を示します。

```
Device#show wireless wgb summary
Number of WGBs: 1
MAC Address      AP Name          WLAN State      Clients
-----
7070.8b7a.7030  Ed2-JFW-AP1     1    Run          1
```

- WGB の詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

show wireless wgb mac-address MAC-address detail

次に、出力例を示します。

```
Device#show wireless wgb mac-address 7XXX.8XXa.7XXX detail

Work Group Bridge
```

```
MAC Address      : 7XXX.8XXa.7XXX
AP Name          : Ed2-JFW-AP1
WLAN ID          : 1
State            : Run
```

```
Number of Clients: 1
```

```
MAC Address
-----
d8XX.97XX.bXXX
```

- コントローラのクライアントの詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

show wireless client mac-address *MAC-address* detail

次に、出力例を示します。

```
Device#show wireless client mac-address 7XXX.8bXX.70XX detail
```

```
Workgroup Bridge
Wired Client count : 1
```

- 次に、出力例を示します。

```
Device#show wireless client mac-address d8XX.97XX.b0XX detail
Workgroup Bridge Client
WGB MAC Address : 7XXX.8bXX.70XX
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。